

止まり木



令和7年（2025年）

10月6日発行

第23号

大阪市立野田中学校

信じて任す

先週、令和7年度・8年度生徒会役員選挙が実施されました。

会長、副会長、2年執行委員2名、1年執行委員3名の計7名が立候補をしてくれました。

特に**1年生は定数2名のところに3名が立候補**をしてくれ、いわゆる**選挙**となりました。

その時にお話ししましたが、もしかした落選するかもしれないという不安や、恥ずかしいという気持ちがきっとあるにもかかわらず、立候補してくれた**3名の勇気を心からたたえたい**と思います。残念ながら落選してしまっても、きっと学年のため、クラスのためにまた、力を発揮してくれることと思います。

立会演説では7名全員が堂々と自分の公約を発表している姿に感激しました。また、同じく選挙管理委員の人達も落ち着いて、丁寧に説明や司会進行している姿にやはり感動しました。そして、本当に頼もしく感じました。7名の立候補者は、一人一人が自身の公約を真剣に訴えていました。そして、彼らを応援する応援演説者、それらの演説を真剣に聞いているみんなの姿も立派でした。いろいろな公約がありましたが、共通して言えることは「野田中学校をより良い学校にしたい。」「みんなが楽しく笑顔で過ごせる明るい学校にしたい。」ということだったと思います。そのうえで具体的な取り組みとして、「アンケート、校則の見直し、ポスター作り、あいさつ運動」などなど、それぞれが様々な取り組みを考え発表してくれていました。また、先輩たちの頑張る姿に憧れて同じように自分も頑張ってみたいと思ったという話もありました。さらには、うれしいことに校長先生の目標である**『止まり木のような学校』**にできるように頑張りたい。という発表をしてくれた人もいました。

すべて正しい感じ方、考え方だと校長先生は思います。**人のため、学校のために頑張っている姿がかっこいい**とその姿にあこがれ、尊敬できる一人一人になってほしいと思います。また、そんなふうに素直に**頑張っている人や努力をしている人を認められる人**もかっこいいと思います。今回の選挙は1年生以外は信任投票による選挙となりました。信任とは**信じて任す（まかす）**という意味です。ただし立候補者以外の人は、選んであげたのだからあとは知らない。勝手にやってということではありません。「信じて任すということは決して人任せにすることではなく、みんなの代表を決め、**全員に協力する決意を表明する選挙**であったことを忘れないでください。新生徒会執行部は11月からのスターです。現生徒会の皆さんにも最後までみんなで協力して、目前の文化発表会や体育大会を大成功させましょう。

注意

先週、地域の方からお電話をいただきました。内容は公園で禁止されているボール遊びをしていた中学生がいる。蹴ったボールが幼児にあたりそうで危険だったので注意した。大きな事故になる前に注意していただいたことに感謝しますと伝えるとともに、全校集会で注意喚起することをお約束しました。そして、今日の全校集会後に自ら名乗り出てくれた生徒がいました。反省もしていました。